



ご挨拶

本日は“*A-Winds 13*”2003年冬の演奏会にお越し頂き誠にありがとうございます。13回目の演奏会を迎えるにあたり「こころ豊かな文化の香り高き町：大和郡山市」の一つの標“やまと郡山城ホール”で皆様方とこうしてお逢いする機会を持つ事ができましたことに、*A-Winds*一同、心より感謝しております。

我々 *A-Winds* 奈良アマチュアウィンドオーケストラは、1999年10月に新しい吹奏楽団として誕生しました。発足と同時に活動を始めて以来1999年12月の“デビュー演奏会”を初めに、本日で13回目の演奏会を開催し、おかげ様をもちまして団員も50名余りにまで成長することができました。これも、皆様方のご指導ご支援あっての事と厚く御礼申し上げます。

団員一人一人の存在感をあらゆる音楽活動に反映できるようにと、管打楽器アンサンブルの延長上の編成に、弦楽器のコントラバスと鍵盤楽器のピアノを加えた最少人数の吹奏楽＝‘ウィンドアンサンブル’を指向し、まだまだ音楽ジャンルの一つの形態として認知されていない“吹奏楽”という音楽形態を、この地元大和郡山市から発信するべく積極的な音楽活動を展開しています。

本日の演奏会では創団4年以来初めて、ポピュラーな曲ばかりを取り上げ愉快で楽しい音楽を披露できるよう練習に励んでまいりました。情熱に胸を膨らませ、一人一人の奏でる音に思いを巡らし、体全体を使って表現するこの愉快で楽しい音楽が、また新しい活動につながりますようお願いを込め、団員を代表しまして今の心境を一句詠ませていただきます。

団員の 数だけ聴こ愉 音楽会

今後とも、暖かいご指導ご支援の程、宜しくお願いたします。

A-Winds 奈良アマチュアウィンドオーケストラ
 団長 魚谷 昌克

本日は何かとお忙しい中ご来場いただきました事を心よりお礼を申し上げます。

今回の“*A-Winds 13*”2003年冬の演奏会は、*A-Winds* 初のポップスコンサートです。今までの演奏会は吹奏楽の魅力を最大限に演奏できるオリジナル曲を選曲して来ましたが、今回はあえて違ったジャンルから、吹奏楽の音色に慣れ親しんでない方にも楽しく聴きやすいポピュラーな曲を選び挑戦します。

いつも舞台ではクラシカルな一面しか見せていないメンバーが、舞台裏では一人一人が愉快的なキャラクターの持ち主で、仲良く演奏活動している様子を舞台上で垣間見て楽しんで頂ければ幸いです。

また、今回は *A-Winds* の今までの音楽活動を客演指揮者としてご指導頂きそしてプライベートではメンバーの絶大な人気で仲良くさせて頂いている井村誠賢先生をお招きして楽しく華やかにお贈りします。どうぞ最後までごゆっくりお楽しみください。

なお、今回の演奏会開催にあたり、関係各方面の方々よりご支援頂きました事を演奏会実行委員を代表して厚く御礼申し上げます。

“*A-Winds 13*”2003年冬の演奏会 実行委員長
 板垣 麻子



A-Winds 奈良アマチュアウィンドオーケストラ

Piccolo
 佐藤 由加里

Flute
 佐藤 司
 魚谷 陽子
 吉村 舞子

Oboe
 上嶋 悠子
 中村 紘子

E♭ Clarinet
 長尾 恭子

B♭ Clarinet
 畑澤 淳子
 初岡 ゆき
 石田 契子
 福辻 彩美
 植田 洋美(休団)
 竹村 明恵
 日置 久美
 森本 幸恵

Alto Clarinet
 大西 晴巳

Bass Clarinet
 佐藤 浩史

Bassoon
 萱原 美華子

Alto Saxophone
 行政 美智子
 島田 博一

Tenor Saxophone
 初岡 和樹

Baritone Saxophone
 奥田 ひろみ

Horn
 小川 貴子
 白置 澄子
 久野 耕三
 次田 哲計
 小 林 宏平
 小 計 昭

Trumpet
 魚谷 昌克
 大西 伸幸
 國表 昌広
 表吉 恭子
 篠川 茂章
 篠木 宏江

Trombone
 萱原 淳嘉
 上田 純子
 水谷 匡希
 中井 麻記子

Euphonium
 大西 善郎
 中村 雅美(休団)

Tuba
 吉村 大介
 平野 幸子
 室安 望美(休団)

St. Bass
 吉田 康子
 栗岡 まさみ
 井村 誠貴

Percussion
 平井 晶子
 下村 智子
 板垣 麻子
 辻久 歩美
 川本 保理恵

Piano
 八木 真木

Stage Manager
 河村 穰香



A-Winds メンバー募集

ファゴット1名、ステージマネージャー1名

A-Winds の活動の趣旨（ウィンドアンサンブル&オリジナル重視）に賛同頂ける方 自分で楽器が準備できる方 全ての活動に積極的に参加できる方 18歳以上の方



2003年11月24日(月・祝) 14:00開演
 やまと郡山城ホール大ホール

主催 ● *A-Winds* 奈良アマチュアウィンドオーケストラ
 後援 ● 大和郡山市 大和郡山市教育委員会 奈良県吹奏楽連盟



プログラム

第1ステージ

指揮●佐藤 司

ブラボー・ブラス!

Bravo Brass!
Takashi Hoshide

リバーダンス

RIVERDANCE
Bill Whelan
arr：Gert Buitenhuis

指揮●魚谷 昌克

ユーフォニアム ソロ

アマポーラ

AMAPOLA
Joseph M. Lacalle
arr：Hitoshi Kosugi

ウエストサイド物語 セレクション

WEST SIDE STORY Selection
Leonard Barnstein
arr：W. J. Duthoit

休 憩

第2ステージ

指揮●井村 誠貴

マーチメドレー

MARCH MEDLEY
arr：Kunihiro Sugjura

スターウォーズ サガ

STAR WARS SAGA
John Williams
arr：Johan de Meij



曲 解 説

ブラボー・ブラス!

「ブラス喝采!」という意味の語呂合わせのタイトルのこの曲は、ブロードウェイミュージカル等に代表されるショーミュージックをイメージして作られました。

ショーミュージックは視覚的な華やかさもさる事ながら、音楽的にも魅力に富んでいて吹奏楽にもよく合います。

まずトロンボーンの音色で華やかに曲が始まります。

メインテーマに引き続き弦楽器のピチカートのイメージのテーマ、ワルツのゆったりとしたテーマ、そして、スウィングの乗りの良いテーマと次々と曲想が変わり演奏されます。

リバーダンス

いまや、世界的な人気を誇る一大エンタテインメントとして大成功をおさめています。

上半身を全く動かさず、下半身だけでタップを踏む、躍動感あふれるアイリッシュダンス。

ケルト文明の神話や伝説をモチーフに現代的にアレンジした伝統音楽。そこにアフリカンやスパニッシュ、ロシアンなどの異文化が入った現代のケルト音楽。

このダンスと音楽が融合されたステージは鳥肌が立つほど感動します。作曲者の B. ウェランはこの曲で、グラミー賞ベスト・ミュージカル・アルバム賞に輝いています。

アマポーラ

昔から愛されている名曲です。

最近ではほとんど唄われる事が少なくなり、その昔日本でもジャズ黄金時代には、たとえ口づさむ事はしなくても誰もがメロディーを知っていて、ハミングしたりスキャットしたりしていたそうです。

ラテンナンバーで小気味良いリズムに乗って踊りやすいところから、ダンスブームとあいまって大流行しました。

今回は *JJ's Winds* のユーフォニアム奏者の大西善郎さんのソロ演奏でしっかりと、また情熱的にアレンジされた「アマポーラ」をお聴きください。

ウエストサイド物語 セレクション

1953年に初演されたウエストサイドストーリーは、20世紀が生んだミュージカル最高傑作と称され、永遠のスタンダードとして、現在も世界中で上演され続けています。

物語はシェイクスピアの『ロメオとジュリエット』の構図を下敷きに、ニューヨークのダウンタウン“ウエストサイド地区”で繰り広げられる不良少年達の抗争を背景に、敵同士にもかかわらず恋に落ちてしまった主人公トニーとマリアの苦悩と悲劇を描いています。

「セレクション」は、世界中で大ヒットしたナンバー「トゥナイト」、劇中で決闘の前に歌い踊る「クール」、フェルトリコ系移民の女の子たちが歌い上げる「アメリカ」などを始めとする、良く知られている名曲の数々がメドレーになっています。

マーチメドレー

皆さんよくご存知のマーチを並べた曲です。

“レイダースマーチ、笛をあげて、行進曲「軍艦」、葬送行進曲、結婚行

進曲、天国と地獄”さて、あなたは何曲をご存知でしょう?

メンバーの楽しいパフォーマンスもご期待ください。

スターウォーズ・サガ

ジョージ・ルーカス監督の映画「スターウォーズ」は1978年に日本で公開されました。

全部で6作品ある中から4作品目の「エピソードⅣ(新たなる希望)」から始まり「エピソードⅤ(帝国の逆襲)」「エピソードⅥ(ジェダイの復讐)」と旧3部作と呼ばれる3作品が上映されました。

それから20年の年月が年月が経ち、再び新3部作の「エピソードⅠ(ファントムメナス)」「エピソードⅡ(クローンの攻撃)」が公開されました。

エピソードⅢは2005年公開予定で、世界中のスターウォーズファンが公開を待ち望んでいます。

SF 超大作のスターウォーズの世界を存分にお楽しみください。

文責：坂垣麻子



指揮者 井村誠貴プロフィール

1994年大阪音楽大学コントラバス科卒業。在学中よりオペラ指揮者として

各地で研鑽を積み、これまでに菊池彦典氏をはじめ、岩城宏之、星出豊、秋山和慶、手塚幸紀、大町陽一郎、広上淳一、牧村邦彦、飯森範親、阪哲明らの日本を代表する指揮者のもとで、アシスタント・コンダクターとして多くの公演に携わり高い評価を得ている。主に関西歌劇団、ザ・カレッジ・オペラハウス、関西二期会などの主要団体のほか、地方オペラなどにも積極的に取り組んでおり、いずれも重要なポストを与えられている。オペラレパートリーも50演目を越え、「カルメン」「フィガロの結婚」「蝶々夫人」「椿姫」「ヘンゼルとグレーテル」などの主要作品の他にも、オペレッタや邦人作品の初演にも力を注いでいる。中でも喜歌劇楽友協会におけるJ.シュトラウス「ウィーン気質」の邦人初演は注目を集め、高い評価を得ている。

99年には東宝ミュージカル「ラ・カージュ・オ・フォール」、02年には「マイ・フェア・レディ」を大阪、名古屋、博多、03年には、東京にて「レ・ミゼラブル」のロングラン公演を成功させるなど幅広いジャンルで今後ますます活躍が期待されている。01年にはイタリア 留学を果たし昨年帰国。現地では As.Li.Co の公演ツアーに同行し、副指揮者として高い評価を得た。指揮をウィーン国立音楽大学の湯浅勇治氏をはじめ、松尾葉子、広上 淳一、辻井清幸の各氏に師事。現在、喜歌劇楽友協会、*JJ's Winds*、オーケストラ MFI 指揮者。



ご 案 内

“*JJ's Winds* 14” 2004年春の演奏会

2004.3.14 (sun) 14:00~

懐かしい曲や派手な曲などいろいろ揃えてみました。*JJ's Winds* のメンバーも若い人から超ベテランまでいろいろ集まっていますよ!